平成２４年度　学校自己診断（保護者・生徒用）分析結果

余寒厳しき折、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本校学校教育諸活動に対しましてご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本校ではこれまで年度当初に今年度の重点目標と具体策を一覧表にして明示してきました。11 月下旬には具体策の中間進捗状況や学校だより・各種通信やＨＰなどを参考にしていただき、学校自己診断を実施しました。保護者の皆様方には、お忙しい中ご回答をいただき、誠にありがとうございました。今年度も、過去３年間に実施した項目の数値を平均し、今年度のものと比較・分析し、その結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

学校自己診断やその他のデータなどの結果を踏まえて、課題となった項目・内容や充実したい項目について、2 月中旬の学校協議会においてご意見やご提言をいただき、次年度の重点目標や具体策に活かしていきたいと考えております。何卒よろしくご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 2 月 15 日

豊能町立吉川中学校　　校長　　新谷芳宏

（１）実施内容＝（　）は昨年度、一昨年度の数値

①実施日　保護者＝平成２４年１１月１９日～２６日　　生徒＝１２月４日

②回収率　保護者＝平成 24 年度＝97.8%　（23 年度 98.3%、22 年度＝88.0%、）

　　生　徒＝平成 24 年度＝98.3%　（23 年度 99.0%、22 年度＝97.3%、）

③質問数　保護者＝１７項目（１６項目）、生徒＝１５項目（１４項目）

④項目の増減　　＝保護者生徒それぞれ１項目増

（２）分析結果＝数値は（１「あてはまる」、２「ややあてはまる」の肯定的評価の合計）

①　肯定的評価の高い項目と低い項目について　（過去３年間平均と今年度との比較）

【保護者】

○肯定的評価の高かった項目との比較

項　　目	過去３年間平均	Ｈ２４年度
・学校の情報発信に努めている	８５％	８６％
・学校行事で生徒が真剣に取組むように努めている	８４％	８８％
・学校が楽しいといっている	８６％	８４％
・あいさつ運動に取り組んでいる	８８％	８９％
・読書活動の充実に力を入れている	８０％	８４％

○　肯定的評価の低かった項目との比較

項　　目	過去３年間平均	Ｈ２４年度
・子どもの意見によく耳を傾けている	５５％	６５％
・いじめなどについて真剣に対応している	５７％	６２％
・分かりやすい授業の工夫を行っている	５８％	６３％
・少人数授業などきめ細やかな指導に努めている	６０％	６４％
・地域人材の活用に努めている	６６％	７３％

【生徒】

○肯定的評価の高かった項目との比較

項　　目	過去３年間平均	Ｈ２４年度
・学校へ行くのが楽しい	８４％	８３％
・あいさつは自分としては良くできている。	７７％	７５％

・生活・学習規律などの確立に力を入れている。	７６％	８０％
・学校行事はみんなが楽しめるよう工夫している	７２％	７６％
・朝の読書は落ち着いてできる。	７７％	９０％

○　肯定的評価の低かった項目との比較

項　　目	過去３年間平均	Ｈ２４年度
・学校だより、学年・学級便りをよく読んでいる	５７％	５８％
・先生は、悩みや相談に親身になってくれる	５６％	６７％
・授業はわかりやすく楽しい	６８％	７８％

②総合分析

◆全体の傾向として

○　保護者の回答率は、今年 97.8%となった。昨年より少し低くなったが、それでもここ 2 年ほど高回答率になっている。保護者の方々の協力に感謝したい。

○　保護者の各項目の数値は、過去 3 年間平均に比べ、ほとんどが平均よりプラスとなっている。昨年と比べると、12 項目が高くなっている。逆に 4 項目が低くなっている。生徒は、14 項目中、12 項目が過去 3 年間平均より上回っているが、昨年と比べると低くなった項目は、9 項目もあった。

○　過去 3 年間の平均での保護者の評価では、最も上回った項目は「自学自習の項目」で 15 ポイント上回っている。同じく 13 ポイント上回っているのは、「学校の情報提供」の項目であった。昨年と同項目であった。生徒の評価では、「学校の情報提供」が 14 ポイント上回った。

○　保護者の評価で、昨年からすべての項目が 60%以上となった。今年もすべての項目で 60%台となった。また、昨年に比べて数ポイント上昇した項目は 5 項目。逆に昨年よりマイナスとなった項目は 3 項目あった。それぞれ 1～2 ポイント減であった。
生徒の評価は、「いじめについて真剣に対応してくれる」は 69%と過去の数値で最も高くなった。授業関連は 60%後半から 70%台となった。

○　今年から設けた項目「学校から発信された情報は保護者のもとに届いていますか。」の問いに、42%が当てはまる。まあまあ当てはまるが 34%であった。約 4 分の 1 の保護者が届いていない場合もあるとの答えであった。生徒のみに聞いた「将来の夢」などの項目について、「将来の夢や目標」、「人の役に立ちたい」は 79%と 91%という積極的評価をしていた。この項目でも、過去 3 年間平均より上昇している。

◆肯定的評価の高い項目

○　保護者では、「あいさつ運動に取り組んでいる」が 89%、「学校だより、HP などの情報発信」が 88%「生活規律や学習規律に取り組んでいる」が 88%、などであった。それに対して、生徒の 80%台の項目を見てみると、「落ち着いて朝の読書ができる」が初めて 90%台となった。ただ、これまで他の項目より高い項目であった「学校が楽しい」の項目では、昨年より 5 ポイント低下している。同じく「命とルールの大切さ」が昨年より 5 ポイント減の 77%となった。「学校が楽しい」と答えた割合が保護者・生徒とも 80%台前半となりほぼ同じ数値であった。

○　「基本的な生活習慣の確立」と「社会のルールや人権の大切さ」の項目では、保護者の評価は 3 年前に比べて、10 ポイント向上している。同じ項目で生徒の評価も同様に、約 10 ポイント向上している。

◆肯定的評価の低い項目

○　昨年において、保護者で評価の低い項目は、「先生は子どもの話に良く耳を傾け

ている」の 60%、「いじめなど困っていることに真剣に対応」の 62%の項目であった。他の項目に比べ低いが、過去の平均と比べて約 10 ポイント改善されていた。今年は、昨年より数ポイント向上しているが、60%前半で留まっている。

○　生徒で評価の低い項目は、「相談に親身に応じてくれる」の 67%、「いじめなど困ったことに真剣に対応してくれる」、「学校だよりなどの情報をよく読んでいる」の 56%、等の項目となった。

○　保護者と生徒の肯定的評価の低い項目同士を比べてみると、２項目が重なり合っている。「子どもの意見や相談に親身になっている」、「いじめなど困っていることに真剣に対応」の２項目であった。これは従来からも同じ項目であった。

◆総合的に見て

○　全体的には過去 3 年間と比較し、保護者及び生徒の評価は軒並み高くなっている。学校自己診断を開始して 5 年目になるが、最初の 2 年間は、全般的に保護者の方の評価が高かった。最近 2 年間は生徒の評価が保護者の評価より高くなった。今年は、一概に言えない状況である。

○　授業に関する項目、いじめや相談に関する項目は、これまで生徒の評価が保護者より厳しいものであったが、昨年同様に今年も生徒のほうが保護者より高くなった。2 年連続の改善傾向にあると思われる。

特に、授業の関連する項目は、10 数ポイントのアップとなった。これまで、肯定的評価が 60%台であったが 70%台になった。また、いじめや相談の項目でも、これまで 50%台であったのが、60%台になった。

この変化について、授業関連では、これまでも学習規律がしっかりし、学校全体が落ち着いた状況の中で学習活動が展開されていること、授業研究や習熟度別授業などの取り組みが少しずつ生徒に理解されているのではないかと感じている。ただ、学年によっては今年度途中より授業態度が良くないと指摘される状況となっている。

また、これまでの厳しい回答を踏まえ、学校として、いじめや相談関連では、学校生活アンケートや昼休みの生徒相談を実施や、担任と生徒のミニ懇談も定例のみならず、必要に応じて実施してきた。しかしながら、今年は、いじめの件数も増え、学級によっては保護者説明会を開催した。現在も取り組みを継続中である。

「朝の読書」の項目においては,生徒の評価は 87%になった。最初 10 分間、静かに読書をして 1 日のスタートを切るという習慣がほぼ定着してきたものと思われる。

○　授業に関する項目では、生徒の評価が「70%以上を目指すよう努めていきたい。」と昨年自己診断分析結果に次年度への目標を記載したが、今年度「授業が分かりやすい」が 68%、「少人数授業は、わかりやすい」が 78%となり、昨年度の目標は一部達成できた。ただ、「あてはまる」と答えた生徒はまだ少数であり、その数値をアップするために次年度努力したい。

数年前から、授業研究の実施や授業評価、習熟度別授業等に計画的に取り組んできた。特に、授業の研究については、府教委指導主事や外部講師を招いて研修を積極的に行ってきた。さらに授業研究を進めていきたい。

○　今年度も重点目標の第 1 に「よい生活習慣（あいさつ・読書・自学自習・学校のルール、清掃）」を取り上げたが、自己診断の項目で、「生活規律、学習習慣など基本的な生活習慣に力を入れている」との問いに、保護者の評価は 88%昨年比 2 ポイント増、生徒は 80%昨年比 4 ポイント減であった。基本的な生活習慣や学習・生活規律は、集団生活を送り、学習する上で、常に基盤であり重要なもので、一日にして獲得できるものでなく、毎日の積み重ねであると考えている。

○　保護者の自由記述欄における意見は、昨年に比べ 11 件減少した。内容は教師に対する感謝・励ましも何件あったが、そのほとんどは要望や厳しい指摘があった。特に、教師の指導、授業の進め方、学力向上、学校行事、クラブ活動等に関することに多くの意見が寄せられた。また、生徒の意見では、3 件増加した。先生の指導、学校行事に関する意見があった。

※データ及びグラフが、紙面の関係上、小さくなり読みにくくなった点につきまして、何卒ご了承ください。

③自由記述欄について

１名の方の意見の中に複数の内容を記載されているものありましたので、分類する場合は意見ごと集約しました。

なお、自由記述欄の記載については、個人的なもの、特定化されるもの、中傷するもの、事実関係が不明なものなど、それに準ずる記載等については割愛等させいただきましたのでご了承ください。

◆保護者の自由記述欄＝（　）は昨年の数値

自由記述欄では、４７名（５８名）から意見等があった。(分類は１件に複数あり)

	記述内容の分類項目	Ｈ２３	Ｈ２４
1	学校の方針や重点目標に関すること	1	2
2	授業の進め方・少人数授業に関すること	9	9
3	補習・塾と学力・学力向上に関すること	8	7
4	先生の指導や態度・熱意等に関すること	5	7
5	先生と生徒の距離感について	0	1
6	子どもの目線や子どもの気持ちに関すること	1	0
7	いじめ関すること	4	3
8	学校生活・生徒指導に関すること	4	2
9	クラブ活動に関すること	5	1
10	学校行事に関すること	6	7
11	進路情報の発信・高校受験・内申に関すること	2	0
12	学校情報の発信に関すること	3	4
13	地域人材の活用とボランティア活動に関すること	3	0
14	ＰＴＡ活動について	0	0
15	家庭教育・地域連携に関すること	3	0
16	大人の態度に関すること	0	0
17	豊かな心・生きる力の育成に関すること	0	1
18	教科指導に関すること	2	0
19	道徳教育に関すること	0	0
20	図書館に関すること	0	0
21	不登校に関すること	0	1
22	集団規律について	0	0
23	学校･教職員への感謝･励ましに関すること	4	3
24	その他	0	0

◆生徒の自由記述欄

自由記述欄では、２７名（２４名）から意見等があった。（分類は１件に複数あり）

	記述内容の分類項目	Ｈ２３	Ｈ２４
1	授業における進め方、注意の仕方などに関すること	2	2
2	授業態度に関して	0	0
3	補習に関すること	0	0
4	テストの出題等に関すること	1	1
5	自分の学力に関すること	0	0
6	少人数授業に関すること	2	1
7	いじめへの対応や相談について	2	1
8	悩みに関すること	1	2
9	学校行事の充実に関すること	2	2
10	学習環境に関すること	1	1
11	他学年との交流に関すること	0	0
12	学校と家とのけじめに関すること	0	0
13	学校の生活に関すること	4	4
14	地域の行事参加に関すること	1	0
15	クラブ活動に関すること	1	1
16	校則に関すること	1	1
17	進路・成績・内申に関すること	0	0
18	先生に関すること	4	4
19	読書や朝の読書に関すること	2	2
20	家庭・親に関すること	0	1
21	その他	5	4

◇学校教育自己診断アンケート　（保護者自由記述欄より）

＜割愛＞

◇学校教育自己診断アンケート　（生徒自由記述欄より）

＜割愛＞

◇学校より

今年も 98%の保護者の方々が回答していただき本当にありがとうございました。

今回、回答いただいたデータや意見、学校生活アンケート、24 年度の具体策の進捗状況評価など各種の資料を参考に、2 月中旬の学校協議会でも十分議論をしていただくことになっています。そこでの意見・提言を踏まえ、3 月に再度学校で協議を重ね、来年度の重点目標・具体策に活かし努力してまいりたく存じます。何卒ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。